

第3・4学年 国語科（書写）・道徳科学習指導案

日 時：令和元年12月13日（金）5校時

児 童：3年 1名

4年 2名 計3名

指導者：〇〇 〇〇

1 主題名 思いやりを行動で【B・(6)親切、思いやり】

2 資料名 『ポロといっしょ』東京書籍「新しいどうとく④」

3 主題設定の理由（4年生）

（1）ねらいとする道徳的価値について(授業者の価値観)

本主題は、内容項目「B 主として人との関わりに関すること」の「(6)相手のことを思いやり、進んで親切にすること。」を扱うものである。社会生活の中で人は誰もが助け合って生きていく。集団の中でよい人間関係を築くには、相手を思いやり、親切にしようとする気持ちを持つことが重要である。様々な人との関わりが増えていく中で、相手の気持ちを察したり、相手の気持ちをより深く理解したりすることができるようになるが、感じ方や考え方の違いを受け入れたり、自分の都合より相手のことを優先したりすることは難しいこともある。だからこそ、相手の置かれている状況や気持ちなどを自分のこととして想像することによって相手を思いやり、親切な行為を自ら進んで行うことができるような心情を育てていくことが必要である。そして、親切な行為が、相手の喜びとなるだけでなく、自分にとっても喜びや達成感につながることを実感し、親切にすることを大切にする気持ちを育てたい。

（2）児童の実態(児童観)～省略

（3）教材について(教材観)

本資料は、地震により避難所生活を送る「ぼく」が、同じ避難所で生活する見ず知らずのおばあちゃんのことを心配し、飼い犬の「ポロ」を仲介役におばあちゃんを元気づけようと親切にした結果、おばあちゃんが徐々に元気を取り戻していく、という話である。本時では、おばあちゃんを元気づけようとする主人公の気持ちに目を向け、「なぜ、ぼくはおばあちゃんをポロと会わせようと思ったのでしょうか。ぼくの心の声を書きましょう。」という中心発問をする。この中心発問により、おばあちゃんを思いやる「ぼく」の気持ちが、自己満足的な親切ではなく、相手の気持ちを考えた上での親切な行為となって表れ、おばあちゃんを元気づけたことに気付かせたい。そして、自身の経験とも照らし合わせて、思いやりの心を持つことで親切な行為をすることを大切にしたいという気持ちを育てたい。

4 ねらい

第3学年（国語科書写）	第4学年
・はがきの形式を理解し、相手意識を持っていねいに書くことができる。 ・文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。	・相手の身になって人を思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。

5 授業のポイント

第3学年	第4学年
・国語科（書写）について 本時は、4年生の道德の指導に重点を置いている。そのため、児童が間接指導の時間を主体的に取り組むことができるように、以下のような取り組みを行う。 ①実際に社会科見学でお世話になった施設へ、あらかじめ考えておいたお礼の文面をはがきを書く活動を取り入れ、目的意識と意欲を持って活動できるようにする。 ②間接指導の際には、児童が活動内容を把握し、見通しを持つことができるように、ホワイトボードに活動内容を掲示する。 ③3年生児童は、字をていねいに書くことを苦手としているため、あらかじめ中心線を引いておき、書きやすくすることで、自信を持って活動できるようにする。	・場面の状況をイメージさせるための事前指導 授業前の短学活等で、震災についてと、避難所生活の不安、不自由さについて資料を用いて紹介することで、経験のない児童も避難生活の様子を想起できるようにする。 ・内容項目を意識させるための工夫 事前に全校児童に親切・思いやりについてのアンケートを実施し、その結果を導入段階で提示する。それにより本時の内容項目を意識して学習できるようにするとともに、「親切」についての児童自身の課題について考えるきっかけにする。 ・自分の考えを広げるための工夫 村内の他校の実践記録から、同学年児童の考えを紹介し、多様な考えを知り、内容項目について深く考えることができるようにする。

6 本時案

時間	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の反応、☆教師の働きかけ)	指導上の留意点 (□評価、◆留意点)	直接 or 間接 指導	指導上の留意点 (□評価、◆内容項目に迫るための手立て)	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の反応、☆教師の働きかけ)	時間
導入	☆教科書を黙読させる。	◆相手のために、ていねいに書こうとする意欲を持たせる。		◆アンケート結果を提示し内容項目に関心を持たせる。	☆内容項目の提示 ○親切とはどのような行動をすることだと思いますか。話し合みましょう。 ・人のためにすること ・優しくすること	導入
	○Q マートの店長さんにお礼のはがきを書きましょう。 ☆課題の提示 文字の大きさや行の中心に気をつけて書こう。 ☆教科書を黙読させ、はがきの書き方をつかませる。				☆事前アンケートの結果を提示する。 ・いろいろな親切がある。 ・できるときと、そうでないときがあるんだ。	

展開前半	☆文面の書き方の提示 ◎どうしたら行の中心をそろえてまっすぐに書けるでしょうか。 ・中心線に、文字の中心を合わせる。 ○実際に書いてみましょう。 ①練習用紙に取り組む。 ②自分でチェックする。 ③先生のチェックを受ける。 ④本番用はがきに書く。	◆練習用紙、はがきは中心線を引いたものを用いる。 ◆ホワイトボードに間接指導時の学習内容を提示する。		初め～P141L13 ◆おにぎりや運動を勧めても、おばあちゃんには届かなかったことを確認する。 P141L14～終わり ◆ぼくの親切がおばあちゃんを元気づけたことを確認する。 □「ぼく」の気持ちを共感的に考えていたか。 ◆他校の児童の考えを紹介する。	☆資料前半を黙読させる。 ☆板書を用いて、ぼく、おばあちゃん、ポロの関係を整理する。 ○おばあちゃんがおにぎりを食べてくれなかったとき、「ぼく」はどう思ったでしょうか。ワークシートに書きましょう。 ・心配だな。 ・なんで食べてくれないのかな。 ・どうしたらいいんだろう。 発表 ☆資料後半を範読する。 ☆おばあちゃんが元気になったことを確認する。 ○なぜ、おばあちゃんは元気になったのでしょうか。 ・ポロと遊んだから。 ・少しさみしくなくなったから。 ◎なぜ、「ぼく」はおばあちゃんをポロと合わせようと思ったのでしょうか。ぼくの心の声をワークシートに書きましょう。 ・おばあちゃんが心配だなあ。元気になってもらいたいなあ ・ぼくもポロといて元気づけられたことがあるから、きっとおばあちゃんも…。 発表	展開前半
------	---	--	--	---	---	------

展開後半	☆宛名の書き方の提示 ◎文字の大きさの違いはどうなっているでしょうか。 ・相手の名前が大きい ・自分の名前や住所は小さく書く。 ○実際に書いてみましょう。 ①練習用紙に取り組む。 ②自分でチェックする。 ③先生のチェックを受ける。 ④本番用はがきを書く。	◆書く文字の大きさの順を確かめる。 □はがきの書き方を理解し、行の中心や文字の大きさに気を付けて書くことができたか。(知・技)		◆相手の立場に立って考える【思いやり】が【親切】な行為につながることを押さえる。 □自身の親切に関わる経験をふり返ることができたか。	○人に親切にするために大切なことは何だと思いますか。相談しましょう。 ・相手のことを考えてあげること。 ・自分だったらどうかを考えること。 発表 ○これまでの生活で、困っている人を見たとき、相手の気持ちを考えて親切にできたことやできなかったことがありますか。 ワークシートに記入 発表	展開後半
まとめ	☆児童と一緒に基準に照らし合わせて評価する。			□学習をふり返り、今後の生活にいかそうとしているか。	○今日の学習で考えたことや、今後の生活に生かしていきたいことを書きましょう。 ワークシート記入	まとめ

7ー1 板書計画（第3学年）

拡大したはがき（宛名） 【文字の大きさのじゅんじょ】 1、相手の名前 2、相手の住所 3、自分の名前 4、自分の住所	拡大したはがき（文面）	【行の中心をそろえて書くには】 ・中心線に文字の中心をそろえる。	文字の大きさや行の中心に気をつけて書こう。
--	--------------------	--	------------------------------

7ー2 板書計画（第4学年）

1 2 / 1 3

『ポロといっしょ』

☆親切とは

・人のためにすること

・優しくすること

親切

- ・おにぎり→×
- ・運動→×
- ・一人ぐらしで身よりがない

おばあちゃん

会う、なでる、なみだ

ポロに会わせる

親切

ぼく

ポロ

思いやり

相手の気持ちを考える
自分だったらどうか、考える

・心配だな。
・このままだと体に悪いよ

☆なぜ、ぼくはおばあちゃんをポロと合わせようと思ったのでしょうか。
ぼくの心の声を書きましょう。

- ・心配だった。
- ・元気になってほしかった。
- ・自分もポロといて元気づけられた。

8ー1 ワークシート（第3学年）

はがき（実物） （中心線が入ったもの）	はがきのコピー（宛名） （中心線が入ったもの）	はがきのコピー（文面） （中心線が入ったもの）
--------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

道徳学習カード

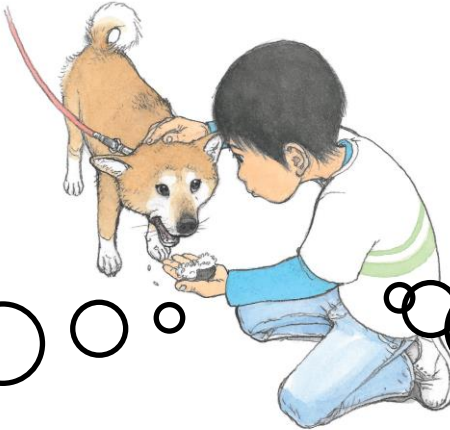
教材名「

(/)」名前

① 自分の考えをもって、発表することができましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
② 自分の考えを深められましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
③ 自分の考えと違う、新しい考えに気づけましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
④ 今日学んだことを、自分の生活に生かすことができそうですか	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
MEMO(なんでも自由に使ってください)	今日の授業で考えたことや、これからの生活の中で今日考えたことをどのように生かすか書いてください。			



① おばあちゃんがおにぎりを食べてくれなかったとき、「ぼく」はどう思ったのでしょうか。



②なぜ、「ぼく」はおばあちゃんをポロと会わせようと思ったのでしょうか。ぼくの心の声を書きましょう。

③これまでの生活で、困っている人を見たとき、親切にできたことやできなかったことがありますか。

